



新之助情報（令和8年8月31日）

十日町農業普及指導センター

- 新之助の出穂は、平年よりやや早くなりました。
- 新之助の刈取り適期は、出穂後積算気温で 1050～1100℃です。
刈遅れや、強い乾燥による胴割粒の発生に注意しましょう。

【生育状況】

表1 新之助の出穂期

	移植時期	本年	差
十日町市（小黒沢）	5月30日	8月11日	平年：8月12日（1日早い）
県平均	5月11日	8月8日	平年：8月11日（3日早い）

【今後の管理】

1 飽水管理の継続

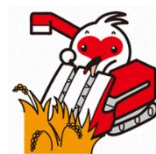
- 登熟向上を図るため、出穂期後25日まで飽水管理を継続しましょう。
- 登熟期間が高温となる場合は、可能な限り出穂期後30日まで継続しましょう。
継続できない場合は、かん水可能期間の終期には十分かん水しましょう。

2 胴割粒の発生防止

- 新之助の一般的な刈取り適期の目安は、出穂後積算気温で 1050～1100℃です。
- 気象庁の予報では登熟期間は暑くなるため、胴割粒の発生が懸念されます。
籾の黄化率を確認し、遅れず収穫しましょう。
- 出穂期後積算気温が 900℃を超えてから強い乾燥に遭遇した場合は、通常より早め（籾黄化率 80～85%）に収穫を始め、胴割粒の発生を防止しましょう。
刈遅れで品質低下しないよう、状況に応じて他の品種より優先して収穫することを検討してください。

表2 刈取り時期の目安（出穂後積算気温 1050℃の到達時期）

出穂期	標高 170m 地点	標高 452m 地点
8月10日	9月25日	9月28日
8月15日	10月2日	10月5日
8月20日	10月10日	10月14日



※8月30日までは実測値、それ以降は平年値を使用し算出しています

3 整粒の確保

- 篩目^{ふるいめ}は 1.9mm 以上を使用し、整粒歩合が 70%以上になるよう、適正な流量で選別しましょう。

4 農作業事故等の防止

- 水分補給や休憩時間を十分確保する等、熱中症予防と健康管理に注意しましょう。
- 作業前の点検や作業時の声掛け等により、農作業中の事故を防止しましょう。

「新之助の生産に係る持続的改善活動」に基づき、作業日誌の記帳や農薬管理台帳の整備・記帳、作業場等の整理整頓を確実に行ってください。